

## 2023年度広島大学新任教員研修プログラム科目一覧

研修区分	選択区分	研修科目名	時間数(H)	コンピューター	研修の概要・目的
共通	必修1	新採用教職員研修	2.5	MC1 MC2	本学の理念・目標など、本学の全構成員が知っておくべき大学運営の基礎となる事項について理解するとともに、職務に必要な基本的知識を習得することを目的とする。
		新任教員スタートアップ研修	4.5	MC1 MC2 EC1 EC2 EC3 RC1 RC2	新任教員が職務遂行上求められる必須知識を習得し、広島大学における教育・研究・管理運営を円滑にスタートアップさせることを目的とする。
MCD	選択必修	高等教育公開セミナー	4	MC2	高等教育をめぐる最新の状況に関する講義を聴講することを通して、大学の指導的立場の大学教職員として大学を広い視野から俯瞰するための知識や技能を身につけてもらう。
		リスクマネジメント研修	1	MC2	大学現場で発生する様々な事故・事件等のトラブルや自然災害の発生に際し、初期対応の基本や大学教職員としてとるべき行動のあり方を学び、リスク対応スキルやリスクマネジメント能力の向上を図る。
		ハラスメント研修会	1	MC2	高等教育機関におけるハラスメント（セクハラ、アカハラ、パワハラ）問題について理解を深め、本学におけるハラスメント行為の防止を図る。
		男女共同参画とダイバーシティ推進	1.5	MC2	男女共同参画及びダイバーシティ推進の社会的意義や目的を理解し、各種施策や取組の現状、今後の課題等について考察する。
ECD	必修2	大学教員基礎（教育）	3	EC1 EC2 EC3	講義とグループワークを通して、本学の学部及び大学院教育（学部：教養教育科目と到達目標型教育プログラムHiPROSPECTS <sup>®</sup> 、大学院：大学院共通科目と学位プログラム）と多様な教育方法の意義と課題を理解することを目的とする。
		学生支援教職員研修会	3	EC3	学生支援に関する様々なテーマ（学生の規範意識向上、学生のメンタルヘルス、留学生が直面する課題など）で研修を提供し、参加教職員が学生支援のあり方について考える。
	選択必修	授業デザイン研修会～目標、内容、方法、評価の4要素を考える～	4	EC1	各教育プログラムの到達目標、各授業科目の到達目標、各1回の授業の到達目標を一貫して理解し、それらを踏まえたうえでシラバス及び授業計画案を作成し、より効果的な講義内容を計画できるようになることを目的とする。学生の学習活動を促進するために有効な授業方法を検討し教育の効果を向上させることを目的とする。
		教養教育授業方法研修会	1.5～3	EC2	教養教育科目を担当する教員の授業の紹介や授業参観を通じて、授業運営の基本的な方法を理解する。授業を進める上での工夫や課題等について意見交換を行い、出席者の授業改善に役立てる。
		高大接続研修会	1.5	EC2	近年の初中等、高校教育や大学入試制度の状況及び本学における入試実施状況並びに入学者の高校及び大学での学習状況等について講義を行い、新任教員の今後の教育活動に役立てる。
		チューター研修会	3	EC3	学生の成績評価、学習相談および生活支援等、チューター業務について理解を深めることを目的とする。
		アクセシビリティ研修会	3	MC2 EC3	ダイバーシティ（多様性）とアクセシビリティに対する理解を深め、多様な文脈でアクセシビリティについて考える力を育むことを目的として、合理的配慮や支援技術等に関する演習形式の研修会等を行う。
		アクティブラーニングを促す授業方法研修会	1.5～6.5	EC2	学生の主体的な学びを促進するために有効な授業方法（PBLやICT活用等）を知り、授業方法の工夫改善に役立てることを目的とする。
		授業参観	3	EC2	授業を参観あるいは公開し、質の高い授業を展開できるよう、事前・事後研究会を開催する。研究会において、授業を進める上での工夫や課題等について意見交換を行い、授業改善に役立ててもらおう。
		英語による授業の方法	1.5～3	EC2	英語で授業をするために、授業の中で英語による様々な学習活動を取り入れる方法について学ぶ。
		TAと協働する授業の設計・運営方法	1.5	EC2	TAとともに授業運営をするために、教員は、授業の設計と運営においてTAと何を共有し、どう組み込んでいくのか、TAに対してどう指導していくべきなのか、について考える。
		教育活動を通して多様性、公正性、包摂性を実現する	3	EC2	学生の学びを保障するために、教員には、異なる文化的社会的背景、障がい、性の多様性等に配慮することが求められる。その具体的な進め方をケースを通じて理解する。

研修区分	選択区分	研修科目名	時間数(H)	コンピテンシー	研修の概要・目的
RCD	必修2	大学教員基礎（研究）	1.5	RC1 RC2	本学が掲げる研究力に関する理念・目的を踏まえて、研究支援体制や研究の管理運営、社会への展開など本学の教員として必要な知識を理解する。
	選択必修	研究力強化概論	1.5	RC1	研究力強化に向けた国の方針や動向、我が国の研究力の現状と課題について理解する。
		研究マネジメント研修	1.5	RC1	研究室の運営やタイムマネジメント等、研究の管理運営に関するノウハウを学び、自身の環境改善に役立てる。
		環境安全講習	1.5	RC1	事故・違反なく研究を遂行するとともに、本学の環境管理、安全管理を理解・実践するための講習。
		動物実験講習会	1	RC1	動物実験に関する法律やガイドライン等を学び、安全管理だけでなく倫理的に適切で、かつ有効な動物実験を実施するための講習。
		遺伝子組換え生物等使用実験安全講習会	1	RC1	遺伝子組換え生物等使用実験と、それを規制するカルタヘナ法について最低限の知識と遵守すべき事項等を学び、適切で安全な遺伝子組み換え等使用実験を実施するための講習。
		機器使用に関する講習・セミナー	1.5	RC1	機器、ソフトウェア等の新規購入時に、操作法、および安全確保について利用者に周知徹底することを目的とする。
		研究倫理教育FD	1.5	RC1	研究倫理の内容と重要性について理解し、本学の関連する規則を知っている。
		研究費獲得研修	1.5	RC2	科研費、共同研究等外部資金の獲得方法及び外部資金を使った研究活動の進め方を理解する。
		英語論文ライティングセミナー	1.5	RC2	英語による論文執筆のスキルアップを目的とする。また、論文成果発信のためのインパクトのある書き方について学ぶ。
産学連携セミナー	1.5	RC2	本学の産学連携に関する制度や必要な手続き、留意すべき点について解説等を行う。		